

授 業 科 目 名	嚥下障害 I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	田中 和親	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>摂食嚥下障害は、小児から成人にいたる幅広い年齢層において起こりうる障害で、言語聴覚士がかかわる重要な業務として言語聴覚士法に定められている。嚥下障害 I では、摂食嚥下に関する基礎的な解剖生理を学習する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>摂食嚥下障害に関する基礎知識を習得する。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	摂食嚥下リハビリテーション総論		
第 2 回	摂食嚥下器官の解剖・生理①		
第 3 回	摂食嚥下器官の解剖・生理②		
第 4 回	摂食嚥下器官の解剖・生理③		
第 5 回	摂食嚥下器官の解剖・生理④		
第 6 回	摂食嚥下のモデル①		
第 7 回	摂食嚥下のモデル②		
第 8 回	摂食嚥下機能と発達・加齢①		
第 9 回	摂食嚥下機能と発達・加齢②		
第 10 回	摂食嚥下障害と栄養①		
第 11 回	摂食嚥下障害と栄養②		
第 12 回	経管栄養		
第 13 回	摂食嚥下障害とリスク管理①		
第 14 回	摂食嚥下障害とリスク管理②		
第 15 回	まとめ		
評価方法	定期試験（100%）		
教科書 参考図書	〔教科書〕 摂食嚥下リハビリテーション（医歯薬出版株式会社）		
履修上の 留意点	口腔から咽頭、食堂にかけての解剖生理学的知識が必須になります。実際の動きを思い浮かべながら学習を嶋しよう。		
メッセージ	食べることは生きること、生きるとは食べること。生きる上で最も重要な食べることについて専門的な知識や技術を学び、支援のできるセラピストを目指しましょう。		